

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月11日(木)
- 3 開催方法 書面開催
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|-------|----------------|------|
| 会長 | 神谷 政人 | (社) 中部地域づくり協会 | |
| 副会長 | 木下ひかる | 岐阜美容専門学校副校長 | |
| 委員 | 長屋 恭一 | 同窓会長 | |
| | 熊田ますみ | 平成医療短期大学教授 | |
| | 遠山 武美 | 須賀地区兼須賀東地区自治会長 | |
| | 鬼頭さとみ | P T A役員(副会長) | |
| | 伊藤 明代 | P T A役員(副会長) | |
| | 学校側 | 野田 正明 | 校長 |
| | | 宇佐美理恵子 | 事務部長 |
| | | 伏見 圭太 | 教頭 |
| | | 吉田美智代 | 教頭 |
| | | 岡田 心一 | 教務主任 |
| | 片桐 一色 | 進路指導主事 | |
| | 郷 龍雄 | 生徒指導主事 | |

5 会議の概要

(1) スクール・ポリシーについて

◆グラデュエーション・ポリシー (G P)

意見1: 校訓が盛り込まれたグラデュエーション・ポリシーで教育の根幹が示されている。

意見2: 総合学科の役割にもとづいた、育てたい生徒像が表現されている。自己を理解した人生設計と、自己実現のための力を身につけてほしい。

意見3: 社会で生きる力は大切である。社会で生きるとは、高校を卒業してからの広い意味で捉えていか?

意見4: 最近、心の弱い若者が増えてきていて、就職しても長く続かない。社会で生きる力をぜひ身に付けてほしい。

意見5: 教育目標に沿って3つの柱に準じ教育実践されていれば問題ない。

意見6: スクール・ポリシーの策定は、大変よい取組である。生徒一人一人が自覚して夢に向かって進んでほしい。

◆カリキュラム・ポリシー (C P)

意見1: 総合学科という特徴が入っている。

意見2: 個を理解し、個を伸ばす指導をお願いしたい。時代の先端を走った教育を推進してほしい。

意見3：本校らしい特色あるカリキュラムで、生徒一人一人の特性に応じている。

◆アドミッション・ポリシー（AP）

意見1：総合学科としてどのような生徒に入学してほしいのかが示されている。

意見2：どんなことも一生懸命取り組む、向学心旺盛な生徒を育ててほしい。

意見3：AP「どんな生徒を待っているか」は入学者選抜の選考の基準、受け入れ方針ということか？

⇒「選考基準」ではない。あくまでも選考は、学力検査と調査書を基に総合的に判断することになる。独自選抜は「記述による自己アピール」も加えて判断する。

※教育総務課メモ：アドミッション・ポリシー（AP）は入学者の受入れに関する方針になります。（令和3年5月10日付け教総122号 別添「三つの方針（スクール・ポリシー）策定の留意点」参照）委員に説明済みであれば、必要に応じて訂正願います。

（2）学校評価アンケートについて

◆保護者等を対象とするアンケートについて

意見1：いくつかの項目で「わからない」という評価がある。学校側が、このように実施しているというアピールを何らかの方法で行ったらどうか。学校独自項目の「お子さんを安心して送り出せる学校である」に対してA・Bの肯定的な回答があわせて90%の評価は素晴らしい。今後も保護者の信頼が得られるようにお願いしたい。

意見2：コロナ禍で学校のことを保護者に伝え、理解していただくのは難しいと思うが、電話やメール（ICT）等を活用してできる限り対応してほしい。

意見3：保護者へのアンケートの「教職員の働き方改革」についての項目は保護者にはわからない。他にもどう回答していいのかわからないものがある。保護者が学校を評価するのは、子どもからの話や広報などの情報しかないので、評価が難しい。

意見4：「お子様はよろこんで学校に行っている」にC+Dの否定的な回答があることに驚いている。

◆生徒を対象とするアンケートについて

意見1：生徒・進路・安全管理指導の評価がよいということは、先生方の努力・指導の結果である。また、さらに学校独自項目も同様に感じる。

意見2：清掃活動等、校内環境を改善（校内美化等）することが大切である。トイレのきれいな学校は、生徒が落ち着いている。

意見3：生徒のほとんどが学校、先生を高く評価していることは良いことである。

意見4：C+Dの否定的な回答が「悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い」は16%、「学校内に落ち着ける場所、相談できる場所がある」が19%あった。悩んだり、悩みを相談したい生徒が多いので、対応を考えてほしい。

⇒教育相談係から学校内外の相談窓口の案内をしているが、まだまだ生徒に定着していない。生徒への発信方法を検討していきたい。

◆全体

意見1：きめ細かな質問内容である。生徒・保護者からの視点から考えるとA+Bの肯定的な回答

の割合が大部分を占めていることから、安心・安全・健全な学校である。生徒も保護者も学校に対しての理解があるようである。

意見2：保護者及び生徒の皆さんの回答ともA及びBの肯定的な評価が多く、高い評価が示されているのは大変よいことである。

⇒回答の「E:わからない」については、教職員の職務遂行など伝えにくい部分はあるが、伝えることができる部分はわかりやすく伝え、アピールできる部分はアピールしていきたい。また、項目によっては、評価の難しいものがあるので、今後、質問内容についても検討をする。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校運営について

◆夏休み以降の学習支援について

意見1：臨機応変に対応している。Webでも、休み明けの個人懇談は必要であり、生活の様子を把握することが重要である。

意見2：感染症対応とWebを使った授業等、教職員が苦勞したことがよくわかる。対面授業や面談（相談）が十分出来ない環境だが、生徒の声をしっかり聞いてほしい。

意見3：対面授業での感染症対策も徹底している。登校時の検温はしているのか？

⇒校舎に入る前に健康チェックカードによる健康チェックを実施しているが、カードのチェック項目に体温の記入欄があり、自宅で検温した体温を記入することになっている。健康チェックで登校時の検温による密を回避し、体温の確認をしている。

意見4：去年のことを思うと今年のWebはスムーズにできていた。本校は総合学科ということで、2・3年次生と一緒に授業をすることから、2年次生も3年次生と同時期に登校できたことは大きかった。この先、どんなことが起こるのか分からないので、Web授業は常に準備は必要である。県からの指導に対して学校ではきめ細かく対応できている。

意見5：Web授業でも生徒一人一人に寄り添った内容で進められるとよい。

⇒今回のWeb授業は、学習支援アプリ等の職員研修の実施により、大変充実した授業が展開された。今後はICTの活用を通じて、よりわかりやすい授業ができるように準備していきたい。

・Webによる学習支援は教職員の資料作成など大変な努力を要すると思う。生徒一人一人に寄り添った内容で進められると素晴らしいと思う。

◆学校行事の実施状況

意見1：今までと同様に学校行事ができないことは、生徒にとっては寂しいことだ。動画の部活動紹介は、この形式でよいのではないか。生徒会役員選挙については、最近、電子投票を取り入れる学校が出てきたので、是非、今後も実施してほしい。3年次生の発表の場がもてるとよい。期待している。

意見2：試行錯誤し、工夫された行事が行われたと思う。

意見3：コロナ禍で仕方がないが、楽しみにしていた行事が中止になり、高校の思い出がなくなるのは本当に残念なことである。何とかできることを考え、是非いい意味で心に残る高校生

活にしてほしい。先生方の「断腸の思い」は理解できる。本当に大変だと思う。

意見4：今年の3年生は、何一つ行事ができず、かわいそうだと思う。卒業アルバムに使用する写真も少ないだろう。何か思い出や記念になることをやってほしい。

意見5：これまで学校行事のメインであった学園祭・体育祭・修学旅行が実施できなかったが、今後は、コロナの状況を考えながら実施できるとよい。

意見6：生徒一人一人が仲間意識をもてるようになることも大切である。コロナ対策を行い学園祭・体育祭等、時期をずらして行えるとよい。

⇒新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことを受けて、体育祭は12月に球技大会に変えて実施し、学園祭は規模を縮小した企画を1月に実施する予定である。

(4) 県立学校体育施設開放について

◆開放

意見1：学校運営・行事等に支障の無い限り、開放するとよい。

意見2：働き方改革と同時に部活動のあり方を考える必要がある。

意見3：管理等、学校で抱えるのではなく地域の力を借りるとよいのではないかな？

意見4：生徒の活動を最優先するのであれば開放してもよい。それにより管理等についての学校の負担がでてくるのは大変である。

意見5：スポーツをしている市民の方にとって活動できる場が増えるのは、とてもよいことである。しかし、部活動が盛んな本校にとって、それが可能なのか、このコロナ禍での感染対策や動線などを考慮しての防犯対策等、多くの課題があると思う。

意見6：近隣住民の意見や開放するにあたってのルールを決めることが大切だ。使用する側もルールやモラルを守ることが大切だ。

◆開放しない

意見1：本校は部活動が盛んな学校だけに開放するということになると生徒の活動が制約を受けてしまう恐れがある。本来の望むべき教育活動（特別活動）ができなくなる心配がある。

⇒本校の学校体育施設の放課後・休日の稼働率を考えると開放できる時間帯は、ほとんどない。また、令和4年度から新校舎の建設に伴い駐車場も減り工事期間が長く続くことから、当面の間、開放は難しいと考えている。

(5) 学校関係者、家庭、地域住民等として学校への期待、質問、提案等

意見1：更新したホームページは、わかりやすく興味をもつ内容であった。もう少し内容があってもいいのではと感じた。今後の学校運営・教育活動を応援したい。

意見2：総合学科の特徴を最大限発揮した、未来の日本を担う生徒の育成に尽力してほしい。

意見3：本校の良き伝統を生徒に伝え、継承し、母校愛、誇りの持てる子どもたちを育成してほしい。

意見4：地域や卒業生に出来ることは全面的に協力する。相談してほしい。

意見5：今はコロナ禍でお願いしていないが、2年前まで太鼓部の生徒に「岩野田地域」の祭り行事に参加してもらっていた。評判が良く、地域の方々は「コロナ感染が終息し祭り行事の再開には総合学園の太鼓部に参加協力してほしい」と願っている。

意見6：防災教育（防災出前講座）、工業教育（土木教育）などで協力できる。

意見7：コロナの不安がまだある中での教育活動は大変である。各行事では、蜜密を避けるためにライブ配信等をするなど新しい形に工夫が必要になる。

⇒先日の「オリンピック・パラリンピック報告会」においても、体育館での蜜密を避けるために、2・3年次生が入場し、1年次生は教室でのWeb配信の参加とした。今後も感染状況や会の規模に応じて柔軟に対応したい。

意見8：いじめの相談窓口として、先生方以外にスクール相談員やスクールカウンセラーがいると聞いた。生徒、保護者に情報として伝えてもらえるとうれしい。いじめは、生徒が報告した時点でかなり進行しており、なかなか解決しない。解決したように見えても解決していないことがあるし、逆にひどくなっている場合がある。そんなときの救済措置として知っておきたい。

⇒いじめの相談窓口については、夏休み前の保護者懇談会の配布物として、県の関係機関のお知らせや学校での相談の案内をしている。生徒、保護者から相談があれば必要に応じてスクール相談員やスクールカウンセラーにつないでいる。緊急の場合は、県のスペシャリストサポート事業を利用してスクールカウンセラーを派遣してもらっている。

意見9：前回の会議の際に「外部模試」について質問したが、その後、生徒・教員へのアンケート等を実施したか？また、今後も継続して実施していくのか。希望者に対して実施するのか伺いたい。総合学科の特色を前面に出して実践してもらいたい。

⇒アンケート等の調査は実施していない。生徒の進路決定や卒業後の学力などを考慮し、現状に甘えることなく改善していけるように検討をする。

6 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第2回学校運営協議会は書面開催とした。委員様から、本校の教育活動に対して建設的な意見が得られた。一方、コロナ禍における生徒への支援や総合学科の特徴をより強く打ち出し学校内外に強くアピールしていくことも求められた。今回の意見を真摯に受け止め、さらに魅力ある学校運営を推進していきたい。